

デジタル化推進事業



誰一人取り残されない、
デジタル化への挑戦

デジタル技術活用支援の様子



都城市は、マイナンバーカードの交付率が全国1位(市区别)の強みを活かし、あらゆる分野のデジタル化に率先して取り組んでいます。全国の自治体に先駆けてデジタル化推進宣言を行い、市長がCDO(最高デジタル責任者)に就任。年間100を超える多彩な事業で、デジタル化を強力に推進しています。

【デジタル技術の活用支援】

高齢者向けの相談会、障がい者向けのデジタルリテラシー講座、親子向けプログラミング教室など、さまざまな主体がデジタル技術に触れる機会を創出しています。

【メディアリテラシーの向上支援】

特設サイト「Think都城」を開設。情報を吟味し、時間をかけて物事を掘り下げるスロージャーナリズムの概念に基づき、多様な価値観に触れる記事コンテンツを発信しています。

【災害・救急搬送におけるデジタル化】

マイナンバーカード等をタブレットで読み取ることで避難所受付を簡素化し、混雑状況も一目で分かるデジタルケア避難所の整備、119番通報時に通報者のスマートフォンのビデオ通話を使い現場の状況映像を消防局と共有し、迅速・的確な救命措置に繋げる救急搬送のデジタル化などを実施します。

都城運動公園リニューアル事業



整備イメージ



都城市街地の中心部に位置する「都城運動公園」は、現在、市民の利用はもとより、プロ野球の教育リーグであるフェニックスリーグや宮崎県のプロ野球球団である宮崎サンシャインズの公式戦等の大規模イベントでも活用されています。

今回の当運動公園のリニューアル事業では、防災機能を有する屋内競技場やブルペン・サブグラウンドをはじめ、令和9年度開催予定の国民スポーツ大会のソフトテニス成年男女の会場となるテニスコートを整備しています。

リニューアル後の当運動公園は、大規模災害が発生した場合の緊急消防援助隊の活動拠点等としても機能し、更には、プロ野球の千葉ロッテマリーンズの春・秋キャンプや令和9年度の国民スポーツ大会(ソフトテニス成年男女)の開催を予定しております。

【連絡先】 都城市 総合政策課 政策企画担当

電話番号：0986-23-7161 メールアドレス：planning@city.miyakonojo.miyazaki.jp

